

No. 880

三島由紀夫・割腹自決

—自衛隊市ヶ谷基地—

武道、天皇制礼賛など独特の行動で話題を呼んだ作家三島由紀夫が11月25日午前東京市ヶ谷の陸上自衛隊東部方面總監部に、自らのひきいる「楯の会」会員4人とともに日本刀を抜刀して乱入、自衛隊員5人に負傷させたうえ總監をとじ込めておどし、800人の自衛隊員を前に演説をぶった。

このあと三島は短刀で切腹、他の隊員1名と共に自決した。

三島由紀夫は昭和43年12月「楯の会」を結成、自から会長となり文化防衛論に基づいて民間の防衛隊として組織された団体であり、一種の軍隊組織となっていた。

果して今度の三島由紀夫の常軌を逸した行動の原因が何であったのか、この日の三島の劇的な終えんがいかにも三島由紀夫らしいとは思うのだが。

農 業 祭

第9回農業祭が11月23日を中心に各地で行はれました。

東京ではパレードが行はれ、道ゆく都民に新米や野菜をプレゼント、日比谷公会堂では各界代表者の出席をえて永年にわたり農林漁業につくした人々を表彰しました。

また、世田ヶ谷の赤十字子供の家には、ひと月早いクリスマスが訪れ、サンタクロースが恵まれない施設の子供たちに野菜や動物をプレゼント、楽しい一時を過していました。

国政参加『沖縄の声』

第64臨時国会が11月24日から始まりました。

先の沖縄国政参加選挙で28年ぶりに選出された7人の新議員は、沖縄の県民の心を胸に、緊張中にはればれとした表情で初めて国会の門をくぐったのです。

これより先、上京した新議員はそれぞれ関係団体への挨拶廻りや歓迎攻めで大忙がし、それでも各議員は必ず沖縄県民の期待に答えてみせると大張切りでした。